

流通とSC・私の視点

2015年9月15日

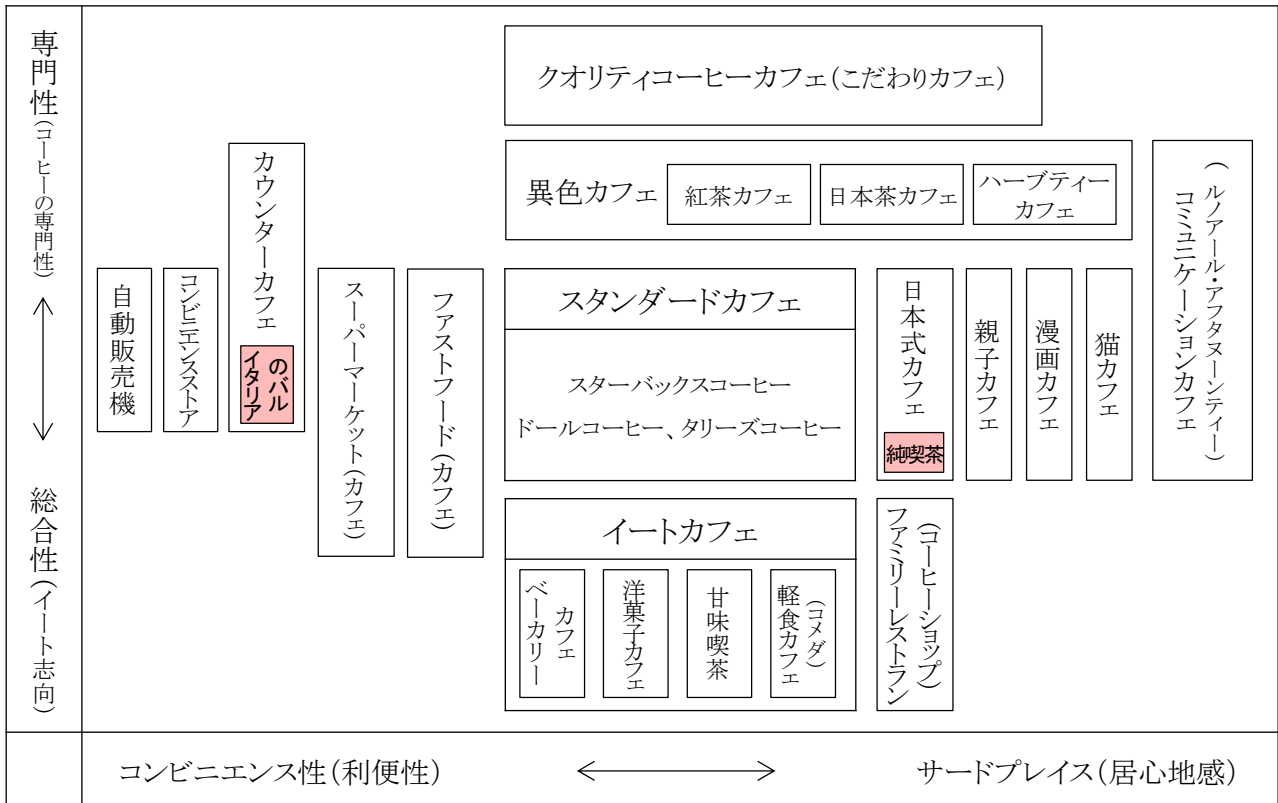
視点(1971)

(専門店編)

カフェの役割とカテゴリー!!

SCや街並み形成において「カフェ」は大きな役割を持っています。カフェは待ち合わせ、打ち合わせ、作業(学生及びワーカー)、コミュニケーション(おしゃべり)、コーヒーを味わう、気軽な食事、時間つぶし(一息つく、一服する)、休息・休憩等の目的に使われます。

カフェをカテゴリー化すると次の通りになります。



原型	進化版															
	広義のカフェ						狭義のカフェ									
	コンビニエンス性						コーヒーカフェ&イートカフェ									
イタリアのバル	日本の純喫茶	自動販売機	コンビニエンスストア	スーパーマーケット	ファストフード	ファミリーレストラン	(イタリアのバル方式) カウンターカフェ	日本式カフェ	親子カフェ	漫画カフェ	猫カフェ	スタンダードカフェ	異色カフェ	コミュニケーションカフェ	クオリティコーヒーカフェ	ホテル式カフェ (格式カフェ)

日本には大正時代から「純喫茶」というカフェ業態があり、1960年代から1990年頃まで大繁盛しました。日本の純喫茶は、コーヒーの味を売るのではなく会話を中心とした「場貸しビジネス」でした。一方、イタリアの「バル」は地域の親しい住民がコミュニケーションのために集まり、コーヒーの香り・味を楽しみつつ会話をする「コーヒービジネス」でした。しかし、日本の純喫茶もイタリアのバルも、コーヒーを仲立ちとするコミュニケーションの場でもありました。その後、カフェとして多様化して色々な目的に活用され、今や世界的に「カフェは文化」となっています。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺

代表 六車秀之